

## 誰でも気軽にスポーツを 美郷町総合型スポーツクラブ 設立総会

美郷町総合型スポーツクラブ設立総会が3月2日、トレーニングセンターろくごうで開かれ、約50人の皆さんが出席しました。  
総会では、クラブ役員を選出したほか、規約や平成22年度事業計画・予算について協議され、いずれも原案どおり承認されました。会長に選出された中村立夫さんは「誰でも気軽に参加でき、楽しく汗を流せるクラブにしていきたい。」とあいさつしました。  
クラブでは、引き続き会員を募るとともに、協賛する企業等を募集しています。詳しくは、29ページをご覧ください。  
なお、選出された役員は次の皆さんです（敬称略）。

- ▽会長 中村 立夫（御前）
- ▽副会長 深澤 義一（四ツ谷）
- ▽運営委員 鈴木 直保（上野荒町）  
佐藤さおり（下株沢）  
藤嶋由紀子（旭町）  
永井美津子（琴平）  
梅山 正之（天神堂）
- ▽監事 村田 嘉一（本道町）  
笹 智子（旭町）



## 町内企業2社が出展、技術をPR 第14回おおた工業フェア

町の友好都市東京都大田区で工業展示商談会「おおた工業フェア」が2月18日から20日の3日間にわたり開かれ、町内からレンズ加工技術の(株)齊藤光学製作所（齊藤伸英代表取締役）、(有)さとう技研（佐藤六広代表取締役）の2社が出展しました。  
この工業フェアは今年で第14回を数え、同区内の製造・IT企業・大学、連携する地方都市の企業など様々な業種の企業が自社の技術を持ち寄り、PRを行うもので、「産業の町、中小企業の街大田区」と言われるだけあり、全国的にも注目されたイベントです。  
美郷町のブースには多数の来場者が立ち寄り、3日間で約120名の方々との名刺交換し、うち6社と見積依頼などの商談が行われました。



## 新政策下での農業経営を考える 美郷町農業担い手 スプリングフォーラム

美郷町農業担い手スプリングフォーラム（町、町認定農業者協議会ほか主催）が3月6日、六郷のアクアホールで開かれ、約60人の皆さんが参加しました。  
このフォーラムは、国の新しい農業政策がスタートするなか、農家と行政が意見交換し、農業経営の進むべき方向を考えようと開かれたもの。町内農業者6人の皆さんが法人経営や新規就農、農産加工など、それぞれの立場から挙げた取組みや要望等に関し、県農林水産部の佐藤文隆部長と松田町長が感想や回答を述べ、互いに今後の農業経営を考えました。



## 統合中学校の名称を

### 「美郷中学校」に決定

平成24年4月新たに開校する美郷町立統合中学校の校名について、3月9日、美郷町立統合中学校開校準備委員会千田委員長から町教育委員会佐藤委員長へ第一次答申書が提出され、同日開催の町教育委員会において、統合中学校の名称を「美郷中学校」に決定しましたのでお知らせします。

### ●校名決定理由

町内三つの中学校が一緒になり新たに誕生する中学校である。本町は旧三町村が合併し現在の名称になった経緯も踏まえ、町と同一の名称であることが望ましい。よって「美郷中学校」が妥当と考える。

問い合わせ

町教育委員会学務課

☎0187(84)4914



▲美郷町立統合中学校開校準備委員会千田委員長（写真左）から町教育委員会佐藤委員長（写真右）へ校名についての答申書が手渡されました。

# 風



▲3月3日、町議会定例会で施政方針を述べる松田町長

## 「がんばる春」

美郷町長 松田 知己

「春眠暁を覚えず」。ご存知、中国は唐時代の詩人、孟浩然の「春暁」の冒頭です。孟浩然が詠んだ春と美郷の春の違いは知りませんが、気持ちは本当に分かるこの頃です。

さて、自然界は人の眠り以上に春に反応しているようで、道端にはあちこちにフキノトウが顔を覗かせています。春の食材という視点ではなく、純粹に植物としてのそれを見るにつけ、「あゝ春だなあ」と思うとともに「がんばらないとな」と思うところですが、みなさんはそう感じたことないでしょうか。

「なんでフキノトウでやる気なんだ」と自分でもちよっと可笑しくなるわけですが、そこには、季節に合わせて反応しているフキノトウへの畏敬の念がありま

す。植物生理上は当然のこととは言え、意志のないフキノトウが春に反応している姿に触れて、「意志ある自分はやるべきことにきちんと対応しているだろうか」との想いにつながり、「がんばらないとな」に至っているようです。（このこと、実は春に限ったことではありませんが・・・）

ということ、この春にがんばらなければならぬこと、挙げてみると例年に比べてたくさんあります。まずは新しい公共施設体制での業務。とりわけ六郷公民館業務を引き継ぐ「中央ふれあい館（旧清水苑）」は、支障のない利用に万全を期します。同じように、新生六郷小学校での教育推進も、必要な対応には迅速さに留意します。次に統合中学校の増築工事の発注事務。名前も美郷中学校に決まり、24年4月開校に向けて準備を着実に進めます。そして「こども手当て」や「米の戸別所得補償」など、新たな制度の推進にも万全を期します。このほか、景気刺激のための工事等の早期発注や緊急雇用対策の各種取り組みの早期着手など、不況を踏まえていろんな取り組みにがんばらなければなりません。

しかし、あんまり考えすぎると漫才の春日三球・照代ではありませんが、「夜も眠れなくなっちゃう」ことになりません。たまには、暁を覚えないことも許してメンタルヘルスに留意し、就職・進学など新たな環境でがんばる方々と同様、がんばる春にしたいと思います。